

探究学習デザインメソッドとは？

● ONGで実施してきた**研究テーマ設定**の手法を、学校現場でも活用できるように開発

● 探究活動における**問いの設定**のため、
➤ 「探究のイロハ」と7つの「ワーク」から構成
➤ 生徒の主体的・対話的に取り組む力を育てながら、探究の目的や「**問い**」を整理

1. 個人ワーク

・個人でしっかりと考えて、付箋に書き出し、言語化

2. グループワーク

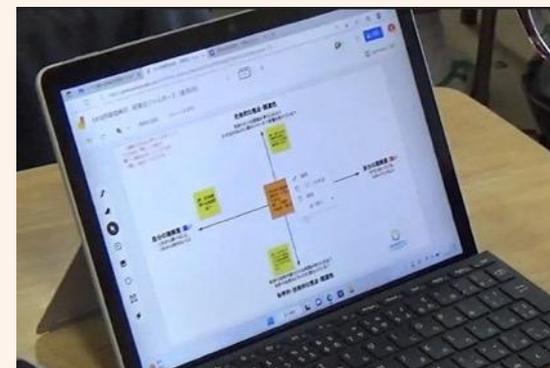
・アクリル板やクリアファイルを重ね合わせ、共有し、協働で思考

3. 全体ワーク

・全体で共有し、周りの考えを知り、個人に戻し、ふりかえる



生徒の思考や協働的な学びを支援

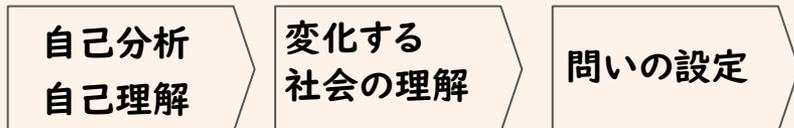


生産技術研究所

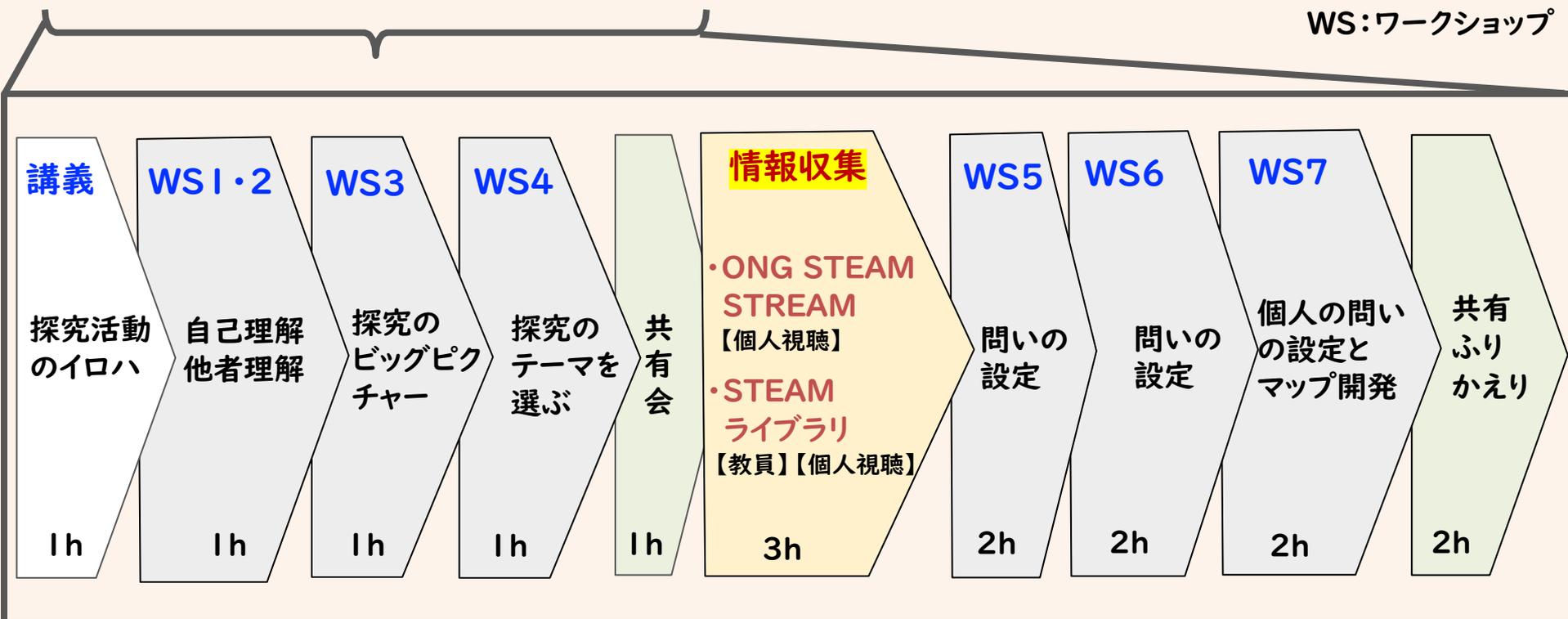


(ONG) HPより

● 本メソッドについてはONGホームページに掲載



WS:ワークショップ

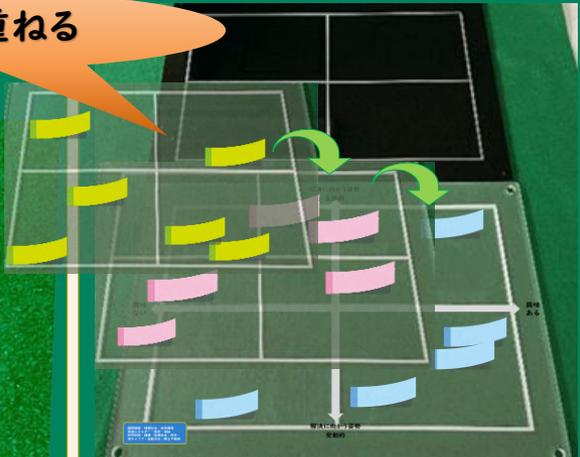
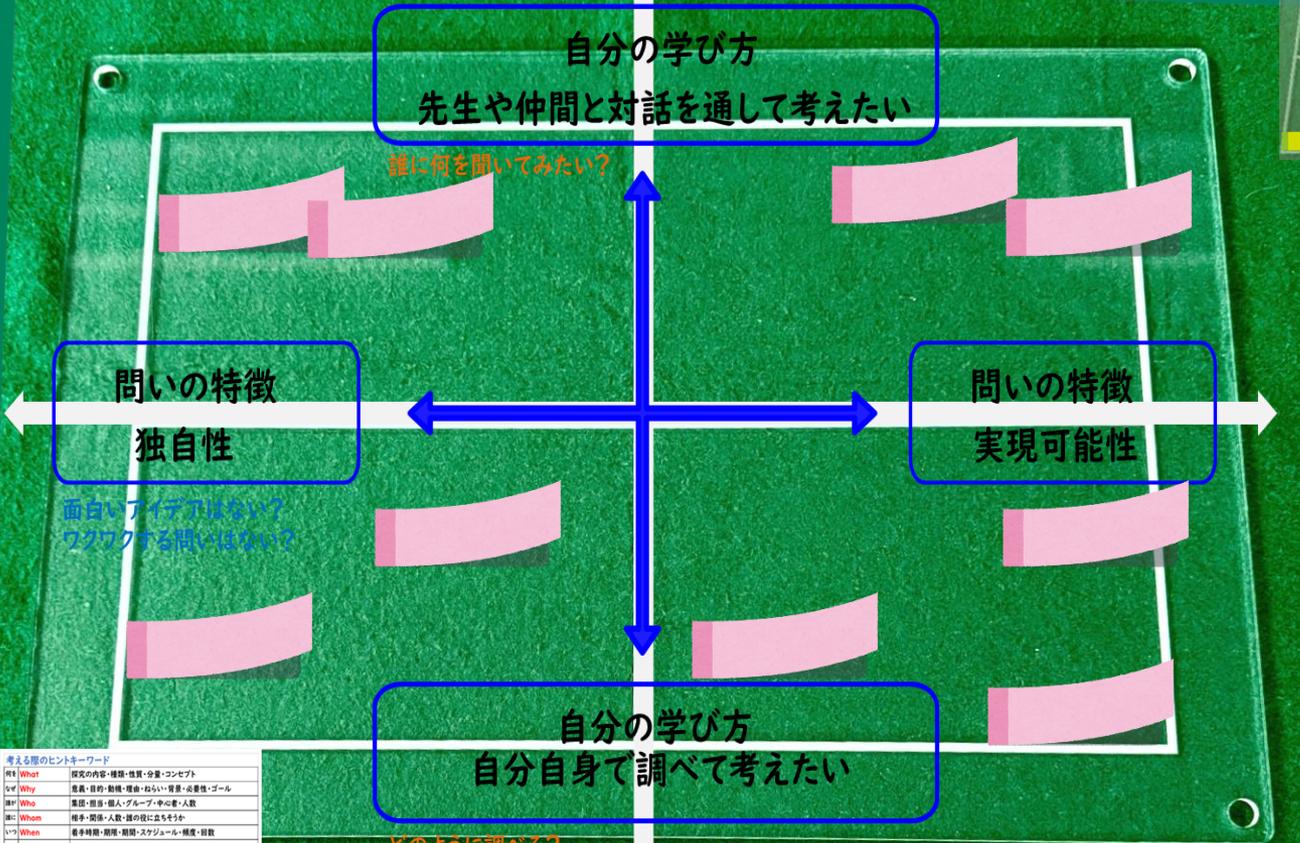


- ◆STEAMライブラリ等で情報収集
- ◆SDGs と価値創造-探究の入り口など、視聴

使用する教具 (アクリル板/クリアファイル 使用例)

WS⑥ よりよい探究の旅の工夫を考えよう!

全員分を重ねる



考える際のヒントキーワード

何? What	探究の内容・種類・性質・企業・コンセプト
なぜ? Why	意義・目的・動機・理由・おもしろい・意義・必要性・ゴール
誰? Who	集団・個人・人数・グループの構成・人数
誰に? Whom	相手・関係・人数・誰の役に立ちそうか
いつ? When	着手時期・期間・期間・スケジュール・頻度・回数
どこ? Where	場所・位置・学校内外・家庭・フェールグループ・空間
誰が? Which	比較・比べることができるか・何を達成するか
どう? How	手段・方法・採取り・進め方
どれだけ? How much	数量・予算・範囲
どのくらい? How many	調査人数(アンケート)・実験回数・頻度
結果? Result	どうなるのか・予想される結果



問いの設定の流れ【基本編】

WS① 自分自身をみつめ、友人を知り、最高の探究の旅にしよう!

このキーワードを配置

- 興味を持ちたい
- プレゼンテーション
- コミュニケーション
- 知識の整理
- じっくり考える
- 動機や能力を伸ばす

問いの設定の流れ【基本編】

WS② 自分やグループの特徴を把握し、旅に出る準備をしよう!

持っている言葉には、以下のキーワードを考慮してください

- 一歩を踏み出したい
- 一歩を踏み出さない
- 一歩を踏み出したい
- 一歩を踏み出さない

問いの設定の流れ【基本編】

WS③ 自分(グループ)の旅のビッグピクチャーを考えてみよう!

どのように成長し、変わっていききたい?

そのためには自分(グループ)には何が必要?

問いの設定の流れ【基本編】

WS④ 旅のテーマを選ぼう!(どの地域に行きたい?)

これらのテーマを全て読み、文章は学校でお考え下さい

- 環境理解、環境社会、自然環境
- 産業文化、産業、産業文化
- 科学技術、経済、芸術文化、防災・災害キャリア、国際文化、経済と環境

問いの設定の流れ【基本編】

WS⑤ 選んだテーマや調べたキーワードから、問いを見つけよう!

社会でどんな問題が考えられる? 人やどのように関わっている? 影響を受けている?

科学や技術の面でどんな問題が考えられる? 科学や技術はどのように関わっている?

問いの設定の流れ【基本編】

WS⑥ よりよい探究の旅の工夫を考えよう!

誰に何を聞いてみたい?

探究を進めていく上で必要なものは何? 場所・時間・必要な物は? 解決を実現可能にするにはどうする?

問いの設定の流れ【基本編】

WS⑦ それぞれの探究の旅のしおりを考えてみよう!

何をどこまで明らかにしたい?

探究により、何を確かめるのか、何を探したいのか、社会にどんな価値があるか、自分の身の回りから、社会全体に目を向ける、多様なステークホルダー(関係する人々)を想像する

「問いを解決することで、誰かの、もしくは何かの役に立つか」

「なぜ興味を持ったのかを探究したいのか」「背景や願い」

「実績、アンケートデータ収集、分析、公開結果、インタビューなど、具体的などのような方法を思い出すか」

探究の【旅のしおり】を作ろう

【探究計画書の作成】

【発表会】